



# 道徳だより

5月号

南砺市立井波中学校

令和4年5月20日発行

道徳とは「人が正しいことをするための心のありようや考え方」のことであり、きまりやルールとは異なるものです。中学生は発達上「思春期」という、心の揺れ動きやすい時期であるとともに、周りの考えや意見に左右されやすいとも言え、よりよく生きる上でのよりどころを、中学生期にしっかりと身に付けることが大切であると思います。そのよりどころを、井波中学校では「道徳教育の充実」と捉え、学校運営の中核に据えています。

さて先日、道徳に関するアンケートを保護者の方々に実施させていただきました。ご多用にも関わらずご回答くださり、本紙面を借りて、心より感謝申し上げます。中でも、設問2「道徳科は、子どもの成長に必要なだ」について「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」を合計すると、実に96%という評価を頂き、保護者の方々の「道徳科」への肯定感をうかがい知ることができました。一方、設問4「道徳科で、子どもが学習している内容を知っている」においては、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」を合計すると16%であり、学校における道徳科の実践が伝わっていないことが分かりました。

そこで、道徳だよりを発行し、道徳に関する活動や授業実践を紹介いたします。是非ともお読みくださり、ご家庭におけるお子さんとの話題に加えていただけると幸いに存じます。加えて、こうした道徳に関する輪が広がり、校区の教育力の向上に繋がればと期待するところです。何卒ご理解賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。(校長 河原 秀樹)

## ◆◆◆中学校では“22”の「道徳的価値」を取り扱います◆◆◆

「道徳的価値」とは、よりよく生きるために必要とされるものであり、人間としての在り方や生き方の礎となるものです。中学校においては、全部で22の内容項目があります。

A 主として自分自身に関すること	C 主として集団や社会との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
(1) 自主、自律、自由と責任	(10) 遵法精神、公德心	(19) 生命の尊さ
(2) 節度、節制	(11) 公正、公平、社会正義	(20) 自然愛護
(3) 向上心、個性の伸長	(12) 社会参画、公共の精神	(21) 感動、畏敬の念
(4) 希望と勇気、克己と強い意志	(13) 勤労	(22) よりよく生きる喜び
(5) 真理の探究、創造	(14) 家族愛、家庭生活の充実	
B 主として人との関わりに関すること	(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	
(6) 思いやり、感謝	(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	
(7) 礼儀	(17) 伝統と文化の尊重、国を愛する態度	
(8) 友情、信頼	(18) 国際理解、国際貢献	
(9) 相互理解、寛容		

※「道徳だより」は学校ホームページにも公開しております。